



二輪車安全 普及協カニュース

No. 107

平成24年1月31日号

発行所

(社)全国二輪車安全普及協会

編集・発行人 鯉渕 三夫

〒164-0012

東京都中野区本町2-28-11

TEL 03-3372-5156

ホームページ

<http://www.nifukyo.or.jp>

Japan Motorcycle Safety Association News

各地で二輪車安全運転普及活動を展開



〈左上〉石川県のGミーティング（スラローム）風景（初開催）

〈左下〉愛媛県の高校生対象安全運転講習会風景

〈右上〉熊本県の高齢者対象Gミーティング（全員65歳超）風景

〈右下〉埼玉県の二輪車街頭点検実施風景

◆目次◆

■年頭の辞

福井威夫・全国二普協会長……………2

石井隆之・警察庁交通局長……………3

■常任理事会・理事会合同会議及び臨時総会を開催……………4

■全国専務理事会議を開催……………4

■23年度Gミーティング開催状況報告……………5

■平成23年度優良団体・優良販売店受賞者名簿……………10

■がんばろう東北・宮城県二普協事業活動報告……………14

■比嘉前九州ブロック協議会会長に感謝状の贈呈……………15

■あなたの安全とバイクを守る全国二普協の2大事業……………16

■DATA: 交通事故/G防犯登録/盗難認知・被害回復……………17

■ホームページの利用促進—免許取得支援活動の活性化……………20

年
頭
の
辞

一人ひとりが知恵を絞り 日々の活動を展開することが肝要

会長 福井 威夫



謹んで新春のお慶びを申し上げます。年頭に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方には平素から二普協活動の推進に当たりまして、多大なるご理解とご支援・ご協力を賜り心より厚く御礼を申し上げます。

昨年を顧みますと、3月に発生した東日本大震災は、15,800人以上の死者を数え、未だに3,400人以上の方が行方不明という未曾有の災難をもたらしました。また、これに伴う福島県の原子力発電施設の事故では、放射線汚染を逃れて多くの方が厳しい避難生活を送っております。ここに改めて、皆様とともに、お亡くなりになられた方々のご冥福と被災地の一日も早い復旧・復興をお祈りしたいと思います。

今回の大震災は誠に悲しい出来事でありましたが、被災地においては、機動性に優れ、低燃費でランニングコストも低い二輪車の利便性、有用性が見直されることにもなりました。

今後は、災害時に限らず、日常生活においても利便性、有用性が再評価され、二輪車の利用が今まで以上に広がる社会を目指し、関係者一人ひとりが知恵を絞り、努力を傾注して日々の活動を展開していくことが肝要であると感じているところであります。

さて、二普協活動の大きな柱であります安全運転普及活動につきましては、皆様方には関係機関、団体と連携を図りながら積極的に取り組んでいただきました。特に、運転技能及びマナー向上に直接的に効果があるグッドライダーミーティングでは、実施後アンケート結果に表れておりますように、多くの参加者から有意義であったなどの好評を得ているところであります。

このような皆様のご努力をはじめ官民挙げての交通事故防止活動により、昨年の交通事故死者数は4,611人、一昨年同期と比較してマイナス252人、5.2%の減少となりました。また、このうち二輪車事故死者数は846人で、一昨年同期比、マイナス25人、2.9%の減少となっております。

今後は、第9次交通安全基本計画に示された「平成27年までに、24時間死者数を3,000人以下とし、世界一安全な道路環境を実現する」との政府目標の達成に向けて、より効果的で有意義なグッドライダーミーティングを開催するなど、各種の安全運転普及活動を積

極的に展開することとしております。

次に、もう一方の大きな柱であります防犯活動では、二輪車の盗難防止と被害の早期回復に資する「グッドライダー防犯登録制度」の普及状況をみますと、昨年1月～12月の国内4メーカーの新車への登録率は、46.3%と一昨年の同時期に比べ1.5%の減少でありました。登録状況を保有台数比率で見ますと22.6%で一昨年の同時期と同じ比率であり、依然として低い状況であります。

加えて、登録率の地域間格差も大きく、グッドライダー防犯登録制度の一層の普及に向けて活動を強化していかなければと考えております。

また、盗難車の市場流通防止と被害の早期回復に資する「二輪車盗難照会システム」に関して見ますと、昨年の二輪車盗難認知件数は67,776件で、前年同期比5,715件減少したとはいえ、依然として高い発生状況にあります。一方、被害回復率については41.1%で、前年対比2.3%増加しましたが、一層の向上が望まれるところであります。二輪車の利用環境にとって盗難防止及び被害回復は大きな課題となっております。

今後も、グッドライダー防犯登録制度及び盗難照会システムの普及促進を図り、二輪車ユーザの利用環境の改善に積極的に取り組んでまいります。

皆様には、こうした私共の活動に対しまして日頃から真摯にお取り組みをいただき、またご支援、ご協力を賜っているところであり、心より感謝申し上げます。二輪車を取り巻く環境は、国内二輪車市場の縮小等もあり安全防犯活動を推進していくうえで厳しい状況が続いております。

一方、公益法人制度改革のさ中であり、当協会は本年4月には一般社団法人に移行を予定しております。

このように、本年は当協会にとって一つの節目の年となりますが、皆様とともに一緒になって諸課題の解決・改善に向け積極的に取り組んでいく所存ですので、昨年にも増して、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

おわりに皆様の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈りいたしまして新年のご挨拶といたします。

年
頭
の
辞

一層の交通死亡事故抑止対策の推進へ 官民一体となった取組みが不可欠

警察庁交通局長 石井 隆之



謹んで新年の挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃から交通警察行政各般にわたり、御理解と御協力をいただき、また、二輪車の交通安全活動の推進に特段の御尽力をいただいておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

また、東日本大震災の復旧・復興対策につきまして、被災地域に寄り添った思いやり溢れる活動に対し、心から敬意を表する次第であります。

さて、平成23年中の交通事故情勢につきましては、死者数が11年連続で減少し、4,611人となったほか、発生件数及び負傷者数も7年連続して減少し、発生件数は平成4年以来19年振りに70万件を下回りました。

これも皆様方を始めとする、関係各位の御尽力の賜であると改めて感謝する次第であります。

御承知のとおり、昨年3月に、政府の第9次交通安全基本計画が策定され、「平成27年までに交通事故死者数を3,000人以下とし、世界一安全な道路交通を実現する」との目標が掲げられました。この目標を達成するためには、平成22年中の死者数を基準に考えますと、毎年平均で約9.2%以上の減少率を維持し続ける必要があります。

しかしながら、昨年の減少率は、5.2%とこれを大きく下回っております。また、個々の交通事故事件に目を向けてみますと、交通事故死者数の約半数を65歳以上の高齢者が占めているほか、未だ飲酒運転等の悪質違反に起因する交通事故によって、多くの尊い命が犠牲となるなど、決して予断を許せない情勢であり、計画目標の達成はより一層の努力が必要となります。

警察といたしましても、交通事故死者数の約半数を

占める高齢者への対策を始め、一層の交通死亡事故抑止対策を推進することとしております。

昨年の二輪車事故の状況をみますと、二輪車乗車中の死者数は、前年より減少しているものの、このうち自動二輪車乗車中の死者数が前年より増加し、また、原動機付自転車では、65歳以上の高齢者の死者数が半数近くを占めている状況にあり、憂慮すべき事態となっております。

もとより、交通死亡事故抑止は、ひとり警察のみで達成できるものではなく、関係機関・団体との緊密な連携による官民一体となった取組みが不可欠であり、貴協会でも実施しておられる「グッドライダー・ミーティング」や貴協会が協力されている「二輪車安全運転講習」、「原付安全運転講習」による安全教育の推進に、大いに期待するところであります。

また、「グッドライダー・防犯登録制度」につきましては、二輪車の盗難防止と被害品の回復に成果を上げるとともに、グッドライダーの広がりが安全運転意識の拡大に貢献しているところであります。さらに、「二輪車盗難照会システム」につきましても、被害回復及び盗難二輪車の流通防止に成果を上げており、両制度がより充実したものとなるよう皆様の更なる御努力に期待するところであります。

結びに、貴協会のますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

常任理事会・理事会合同会議及び臨時総会を開催

全国二普協

全国二輪車安全普及協会（全国二普協）は10月31日、東京・千代田区のアルカディア市ヶ谷で「常任理事会・理事会合同会議」及び「臨時総会」を開催しました。

会議では、①役員を選任、②一般社団法人への移行申請（公益目的支出計画案）、③定款の変更案の3議案が審議され、いずれも全会一致で承認されました。

全国専務理事会議を開催

一般社団法人への認可後のスケジュール等について説明

全国二輪車安全普及協会は12月14日、東京・港区の明治記念館で「全国専務理事会議」を開催しました。都府県地区二普協の専務理事など43人が出席しました。

会議では、「一般社団法人への認可申請後のスケジュール等」を議題として、全国二普協の太田参与が説明を行いました。

また、連絡事項として、①Gミーティングの実施状況及び統一アンケートのユーザー評価、②免許取得支援活動の活性化について、③G防犯登録及び盗難照会システム利用状況、④2011年グッドライダー防犯登録制度推進優良販売店表彰及び2011年優良地域団体表彰——の4点について、それぞれ全国二普協の担当者が説明を行いました。

なお、全国専務理事会議への出席者は次の皆様です。

【都府県地区二輪車安全普及協会】

▽桶田進事務局長（札幌）▽新山陽悦専務理事（青森）
▽泉澤敏夫専務理事（岩手）▽山下靖彦専務理事（宮城）
▽藤田栄専務理事（秋田）▽江目一正常務理事（山形）
▽羽田豊秋常務理事（福島）▽西方勇専務理事（東京）
▽福島小善治専務理事（茨城・栃木・埼玉）▽平野明専務理事（群馬・新潟・長野）
▽富樫正道専務理事（千葉・神奈川）▽標幸一専務理事（山梨）
▽生田昌弘専務理事（静岡・岐阜・愛知）▽横山清司専務理事（富山）
▽稲垣雅文専務理事（石川・福井）▽小島修近畿ブロック会長（大阪・滋賀・京都・兵庫・奈良・和歌山）
▽西川寿光専務理事（鳥取・島根・岡山・広島）



会場風景①挨拶する井内正晴全国二普協専務理事兼常務理事②

▽村松孝夫専務理事（山口）
▽静保専務理事（徳島・香川）
▽出口誠一専務理事（愛媛・高知）
▽松尾陽治専務理事（福岡・佐賀・宮崎）
▽上戸末子業務課長（長崎）
▽塚野一良専務理事（熊本）
▽岡田敏彰専務理事（大分）
▽岡村孝慶専務理事（鹿児島）
▽登野原功専務理事（沖縄）



【全国二普協】

▽井内正晴専務理事兼常務理事▽太田昭雄参与▽鯉淵三夫事務局長▽山本禮仁経理部長▽大沢利方安全普及部長▽田島和雄G防システム部長▽藤本米明公益法人対策室長

【運営委員】

▽千葉英雄委員長▽中西盟委員▽飯田剛委員▽曾根賢二委員▽栗田敏一委員▽奥村浩二委員（代理）▽長谷川靖委員▽藤本哲男委員▽小池田達郎委員▽瀬川比呂昌委員

23年度Gミーティング開催状況報告

石川県、福井県、山口県、宮崎県で初開催 全県実施に向けてカウントダウン

全国二普協事業の安全運転普及活動の柱であるGミーティングは、平成18年に15県でスタートし、その後、年々、開催県は増え、本23年度には44都道府県で106回が計画されました。しかしながら東日本大震災の影響などで中止を余儀なくされた県もあり、昨年12月末現在では41都道府県、90回が開催されました。その受講者数は3,188名となっています。特に本年は、石川県、福井県、山口県、宮崎県の4県で初開催され、更には、地域の特色を活かした、高校生（群馬・島根・熊本）、レディス（千葉・熊本）、高齢者（熊本）対象の講習など多彩で、メリハリのある開催ができました。加えて、全国統一アンケートを試験的に実施し55会場、1,715名の受講者から回答を頂きました。平成18年のGミーティング開始後、累計では43都道府県で延べ438回開催し、受講者数は17,459名に及んでいます。目標である全県開催に向けあと一頑張りのところまで来ました。

Gミーティング実績推移表

	開催件数	延べ 開催回数	延べ 受講者数
平成18年度	15県	37回	1,330名
平成19年度	26県	56回	2,215名
平成20年度	29県	73回	3,071名
平成21年度	37県	86回	3,696名
平成22年度	39県	96回	3,959名
平成23年度 (12月末現在)	41県	90回	3,188名
累計	43県	438回	17,459名

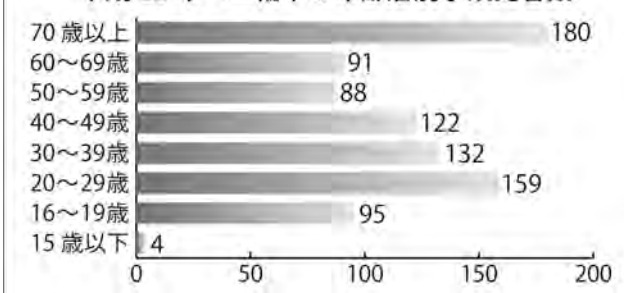
<Gミーティングの狙い>

Gミーティングは、グッドライダー宣言者のための誰でも気軽に参加できる体験型の実技訓練です。上達する楽しさを通じ個人の規範意識に訴えかけ、安全行動を自ら導き出せる安全運転講習を目指しています。この体験型講習会では運転技術の向上とともに、自己の技量を自覚・把握させ、混合交通の中においても危険要素への感受性を高めることで、交通ルールとマナーを重んじるグッドライダーを育成し、二輪車事故の防止を図ろうとするものです。

<受講者アンケートの評価を踏まえた今後の課題>

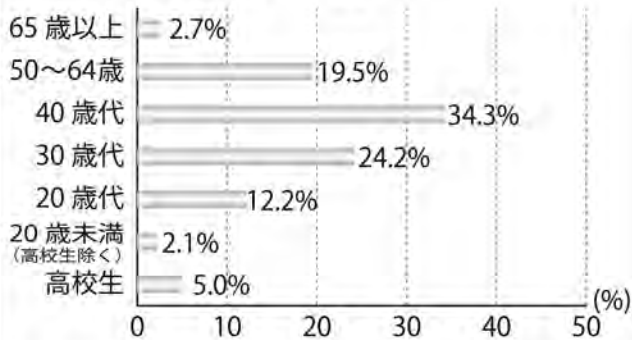
- ・ 二輪車乗車中の交通事故死者数に占める割合が高い、初心運転者や若者、高齢者の参加促進を図る。
- ・ 既実施県の積極的な継続開催（年1回開催県は複数開催を）と未開催県の解消を図る（全県での開催に向けての助言と支援）。
- ・ Gミーティング指導員マニュアルに基づいた運営方法及び指導方法の標準化を図る。そのために指導員のレベルアップ研修会を必要に応じて実施する。
- ・ 地域の特色を活かした高校生、レディス、高齢者対象の講習会の積極的な開催を図る。
- ・ 全国統一アンケートの実施による受講者評価の分析を参考として効果的な運営方法を模索する。など各地域で講習の充実に取り組んでいきます。

平成22年 二輪車の年齢層別事故死者数



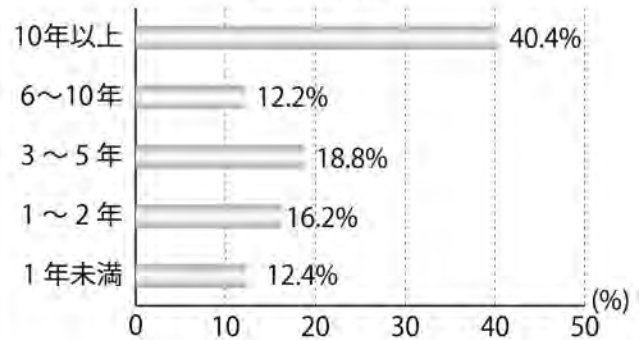
アンケート分析にみる受講者の傾向と評価

【年 齢】



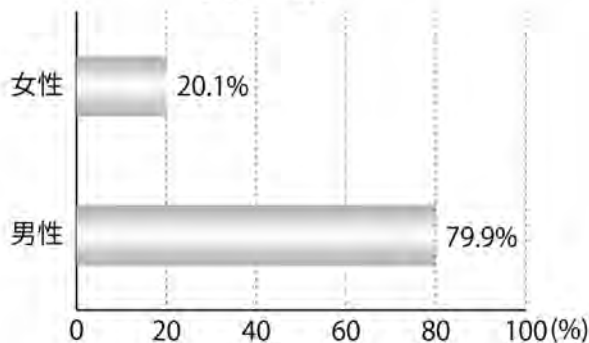
◎二輪車需要の旺盛な時期に育った年齢層（30～40歳代）で6割弱を占めている。
◎事故の多い20歳代以下、65歳以上の参加者は少ない。

【運転経験】



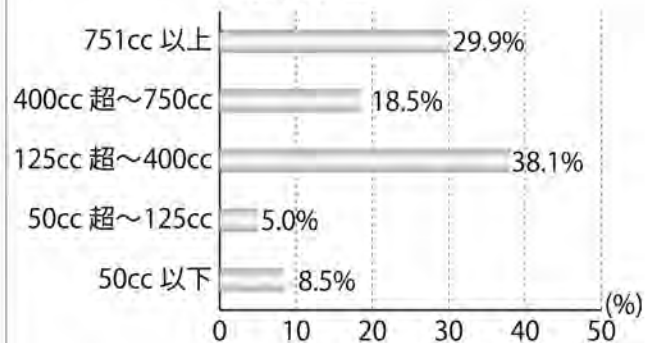
◎6年以上のベテランライダーが半数を占めています。反面、2年未満（事故割合の高い初心運転者）が約3割と構成比が低いことから、今後伸ばしたいキャリア層として広報によるPRなどで参加促進を図っていく必要があります。

【性 別】



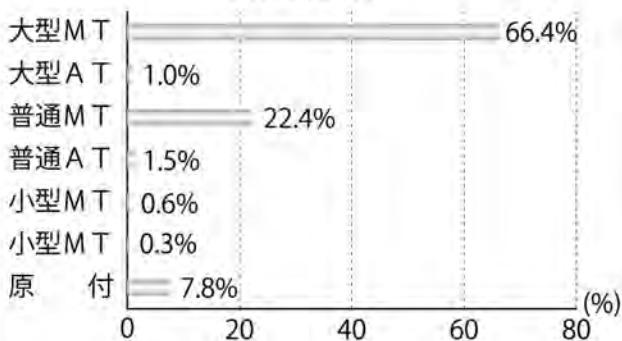
◎男性8割、女性2割と、他の安全運転講習会と同じ傾向を示しています。
◎千葉県はバイク講習を年1回定例開催しており、又、熊本県では、バイク・高校生・高齢者対象を開催しており女性比率が高くなっています。
◎今後は、女性指導員の数を増やすなど女性が参加しやすい開催の工夫が更に必要と思われます。

【排気量】



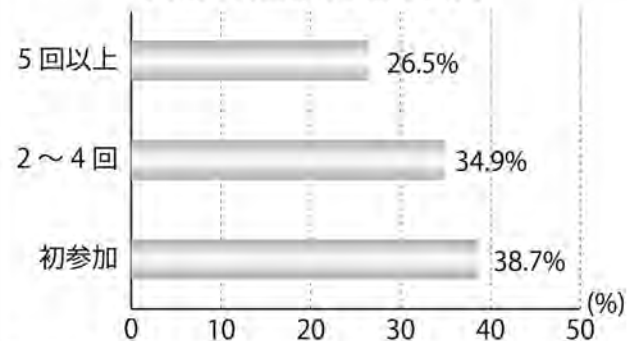
◎所持免許の大型保有率の高さに対し、参加車両は普通二輪が多く、大型免許は所持しているが、保有車両は普通二輪という現象が出ています。運転技術と自信の相関関係があるのかもしれませんが。

【所持免許】



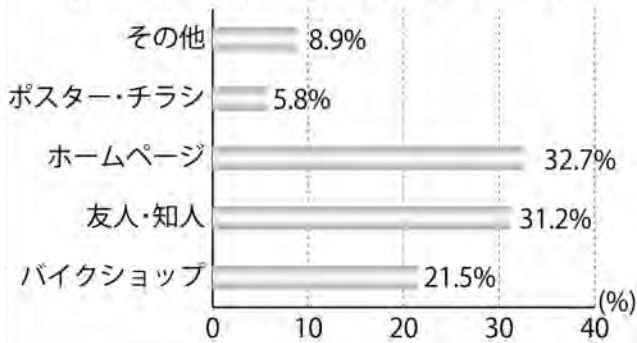
◎大型免許所持者が過半数を占めています。これは大型免許所持者ほど安全意識、趣味性の高さが関連しているものと思われます。
原付・小型は交通手段の足としての利用が高いことがあり、スクール参加が少ないという結果を示しています。

【今回は何回目の参加ですか】



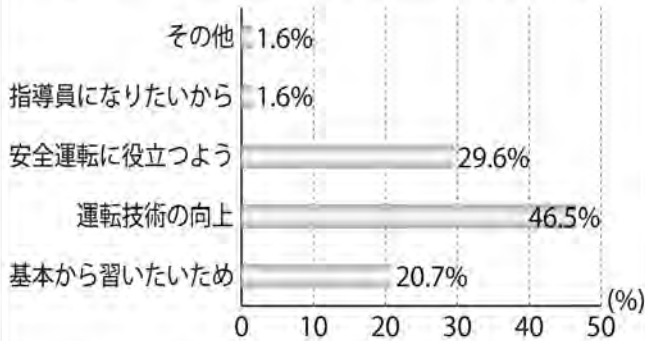
◎初回参加が4割弱と最多であり、講習会の目指す方向性にはほぼ合致しています。
◎次いで2～4回が多く、4回以下で7割を超えていることから対象層への誘引が維持されていると思われます。リピーターが多かった一時期を脱しビギナーへの伝承が徐々になされています。

【G ミーティングは何により知りましたか】



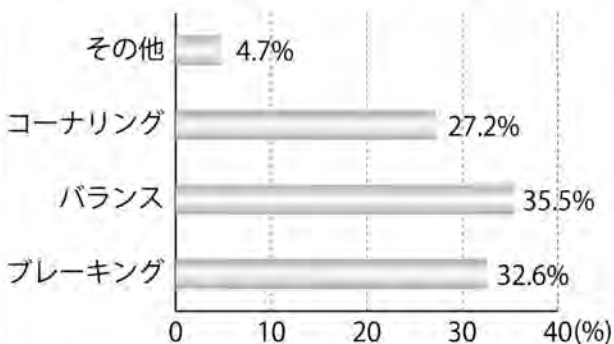
◎HP誘引が最多であり、次いで友人・知人、ショップは3番目と低い。店頭個別安全指導の観点から販売店誘引を積極的に行う必要性があります。G防犯登録は安全と防犯がセットであり、PRの励行を心掛けることが大事です。
 ◎東北では、販売店窓口を主体的に推進しユーザーとの結び付を強化しています。青森県は100%が販売店からの申し込みです。
 ◎熊本県は層別開催のため、学校、地域、警察署等からの動員を頂いています。

【G ミーティングに参加する理由は何ですか】



◎運転技術の向上が最多。講習会参加者の傾向として、安全運転意識の高い方が多いと思われ、前向きな姿勢が窺われます。
 ◎指導員になりたいからが、1.6%あります。今後、指導員育成の視点を織り込んだ運営の必要性もあることを示唆しています。

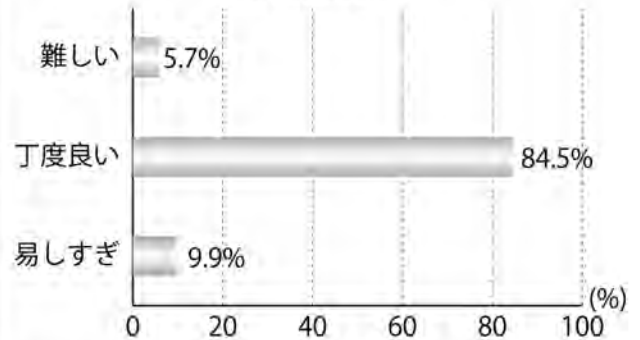
【今回参加して勉強になった内容は何ですか】



◎3つの課題走行において平均にバランスが取れていますので、受講者のニーズを満たしていると思われそうですが、内容の点検は継続して必要です。

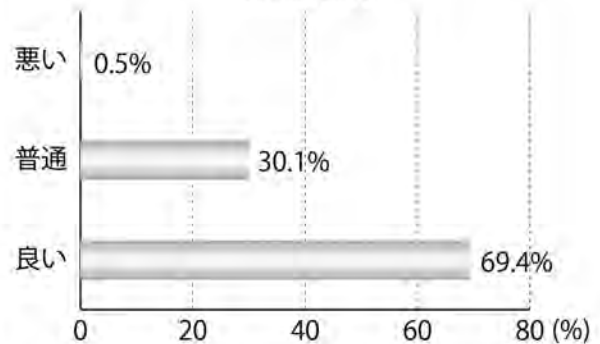
G ミーティングに参加した印象 (①～③) であてはまるものは何ですか

【①講習内容】



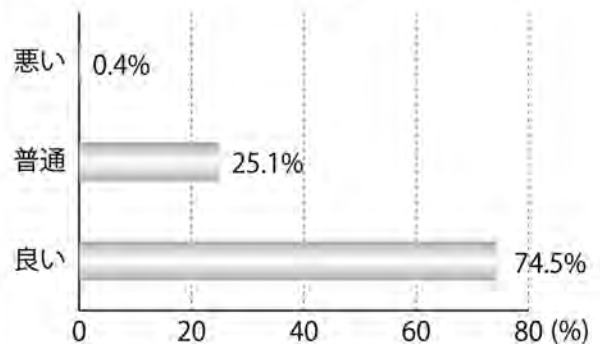
◎丁度良いが大多数であり、受講者の力量にマッチした講習内容であると言えます。

【②教え方】



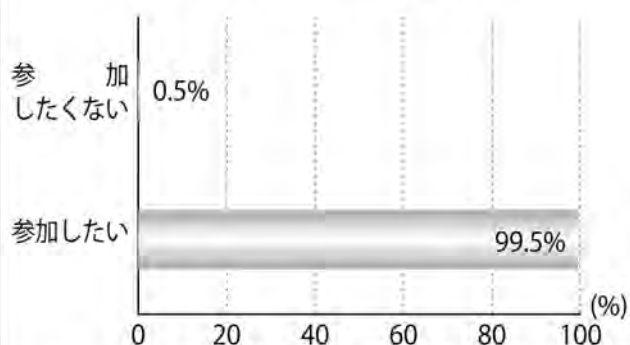
◎「良い」との回答が約7割ですが、「普通」「悪い」との回答が約3割あります。指導員の教え方に改善の余地はないのか、今後の反省材料として検討し、更なる質の向上を図った講習にしていける必要があります。

【③雰囲気】



◎教え方同様、「普通」「悪い」回答が1/4あり、指導員・事務局等の対応に改善の余地はないのか振り返ってみる必要性はあります。

【次回も参加したいですか】



◎99.5%の方が参加したいとの回答で、受講者の満足度の高さが窺われます。

◎フリーアンサー (感じたこと、ご意見)◎

「楽しかった」「バイクライフがますます楽しくなった」「自分の技量が把握でき見直すことができた」など、講習内容に寄せる受講者の評価は非常に高いことが分かりました。一方で、「開催回数を増やしてもらいたい」「バイクショップでの告知があれば良かった」「初心者とそうでない人を分けてほしい」「各指導員の指導方向性が解らないことがある」などの要望や指摘もあります。

このような受講者の評価を踏まえ、講習内容の充実、広報の方法、指導員のレベルアップ等、次年度のGミーティング開催に向けて、尚一層の取り組み強化をしていく必要があります。

トピックス

指導員レベルアップ研修会を実施

四国ブロック



二普協四国ブロックでは、昨年9月、HST四国において「指導員レベルアップ研修会」を実施しました。

当日は、愛媛県7名、高知県4名、香川県5名、徳島県2名の合計18名の指導員が参加しました。

指導は、全国二普協安全部会委員の飯田特別指導員が担当し、「Gミーティング指導員マニュアル」に基づいて、座学では<背景><狙い><指導員の心構え><課題>、実技では<指導要領>について、10:00~16:00まで終日かけて行いました。

四国4県の指導員が一斉に集まったことで、今後の展開に向けて大きな弾みとなりました。

第44回二輪車安全運転全国大会
団体優勝の選手紹介

千葉県Gミーティング



昨年9月に開催された千葉県Gミーティングでは、団体優勝に輝いた4選手を紹介し、千葉県警をはじめ県二推、関係者そして受講者全員でその栄誉を称えました。安全運転講習会の重要性が再認識されたGミーティングのエポックでした。

平成23年度Gミーティング県別開催計画・実績

二普協	開催計画	開催実績	中止	再調整	残回数	動員人数	内女性	指導員数	警察白バイ
北海道	6	6				304	41	74	
青森	1	1				29	4	13	2
岩手	3	3				82	7	27	
宮城	4	4	1	1		114	13	40	4
秋田	1	1				19	3	2	5
山形	1	1				21	4	7	4
福島	震災の影響により、本年度の開催は困難								
東京	5	5				189	29	66	8
茨城	2	1	1			23	6	11	4
栃木	2	1	1			34	4	13	2
群馬	2	2				139	25	24	10
埼玉	4	3	1			125	31	43	18
千葉	6	5	1			227	49	87	22
神奈川	5	5				169	18	81	11
新潟	2	2				96	20	14	5
山梨	5	4			1	95	11	26	2
長野	2	2	1	1		35	10	25	5
静岡	2	2				88	4	17	2
富山	2	2				46	6	5	
※石川	1	1				26	6	7	
※福井	1	1				31	3	7	
岐阜	1	1				43	7	9	
愛知	2	2				59	18	17	
三重	1	1				36	4	12	
滋賀	1	1				29	9	4	3
京都	2	2				40	11	8	
大阪	8	7			1	430	118	63	14
兵庫	2	1	1			49	11	5	3
奈良	2	2				54	17	11	4
和歌山	2	1			1	31	5	5	
鳥取									
島根	1	1				90	20	6	
岡山	1	1				43	8	8	
広島	2	2				62	6	24	4
※山口	1	1				16	1	8	
徳島	1	1				14	1	10	2
香川	1	1				22	6	9	4
愛媛	1	1				44	4	10	3
高知	1		1						
福岡	1		1						
佐賀									
長崎	2	2				29		18	
熊本	5	4	1			77	38	24	9
大分	8	4	4			89	16	28	2
※宮崎	1	1				11	1	5	1
鹿児島	1		1						
沖縄	1	1				28	6	12	3
合計	106	90	15	2	3	3188	601	885	156

平成23年12月末現在 ※印は初開催県

優良販売店128店、優良地域団体42団体に栄誉

G 防犯登録制度推進「平成23年度全国二普協会長表彰」

グッドライダー防犯登録制度推進優良販売店

計128店

都府県地区名	店 名	代表者名
札幌	CS OKUNO 井上モーターサイクル商会	奥野肇 井上富夫
旭川	(有)関谷モータース (株)土井二輪商会 モトハウス ケンケン	関谷治 土井昭光 森川健二
釧路	AUTO CYCLE ZOO	横畠日出夫
帯広	YSP 帯広 (有)びとう商会	尾藤輝幸
北見	(株)オクヤマ	奥山俊二
青森	YSP 八戸 (有)ブルーフォーレスト YSP 青森中央	三浦健至 中村卓三 成田郁久
岩手	(有)田中ホンダ サイクルセンター山口輪店 モトスペースウインディ モトショップ ヒロノ	田中清也 山口光久 武内浩
宮城	MOTOTEC R-4 プロスマーターサイクル	廣野武男 横江幸二 鈴木敏之
秋田	POWER'S サトウ ホンダウイング トダテ	佐藤俊二 戸館和夫
山形	(株)早坂サイクル商会 山形店 (有)ホンダウイング スピリッツ (株)ホンダウイング 荘内	早坂忠 小野寺修 荒生和人
福島	(有)モーターハウス (有)多田車販 オートスペースゼウス	菅野芳郎 多田昭二 福島浩貴
東京	SOX 中野店 SOX 武蔵村山店 ブルーム411	佐藤隆一 佐藤隆一 相原毅
茨城	(有)木村輪業 (株)ウエストウッド 井原商会 (有)飯田商会	木村茂之 井原啓之 飯田達也
栃木	ホンダドリーム宇都宮 バイクステーション SOX SBS 足利 (有)川口輪業	岡康夫 佐藤隆一 川口靖雄
群馬	(株)バイカーズステーション ソックス大泉店 ホンダドリーム 前橋 バイクボックス 笠原	佐藤隆一 河原井弘 笠原一寿

埼玉	(株)弁慶 (株)アイフルオートサービス (株)サイクルロード イトー 指扇店	林 青 雲 鈴木 祐 次 伊 藤 晶
千葉	スズキワールド 船橋 (有)袖ヶ浦ホンダ 本店 バイカーズステーション ソックス 柏店	次 廣 章 小林 宏 子 小 佐 藤 隆 一
神奈川	丸富オート販売(株) 環2市沢店 ホンダドリーム 横浜都筑 (有)サカエオート	長 田 憲 治 川 端 唯 久 中 村 昌 弘
新潟	(有)佐上商会 (有)SBS 青山 (有)モトパーク サイトウ	佐 上 博 古 俣 章 斎 藤 武 光
山梨	(有)ミカサ商会 バイクショップ 藤本 竹屋総合のりもの商会	小 野 弘 樹 藤 本 和 儀 小宮山 正 三
長野	ホンダドリーム 長野 ホンダドリーム 松本 オートショップ アオ	小 林 邦 博 赤 羽 博 巳 青 柳 昌 司
静岡	YSP 浜松 YSP 沼津 (有)畑オート	和 田 茂 長 倉 安 志 畑 要 吉
富山	YSP 富山東 (有)ワークスマツオカ	叶 井 廉 松 岡 信 明
石川	motor house BIKE ON 金沢田上店 二輪館にしむら バイクショップ (有)イナミ	片 岡 匡 史 西 村 健 一 井 波 龍 太
福井	赤い3輪車 (株)バイクガレージ 福井 (株)ホンダ販売敦賀	小 林 幸 広 出 口 幸 宏 中 河 義 隆
岐阜	竹村輪業 (有)サイクルショップ 高井 国枝サイクル商会	竹 村 千奈美 渡 辺 晃 伸 國 枝 久 人
愛知	(株)イトー KT ホンダドリーム 小牧 ホンダドリーム 名古屋南	伊 藤 達 也 酒 匂 好 規 酒 匂 好 規
三重	前田商会 木澤商会	前 田 勝 昭 木 澤 繁 樹
滋賀	(有)バイク・イン 竹村商店 はやしサイクル	上 村 昭 行 竹 村 俊 夫 林 哲 也
京都	(有)M&Eプロダクツ SBS 天神川 (株)久保村モーター	村 橋 秀 幸 黒 岩 義 正 久保村 嘉 昭
大阪	(株)ゲンズ (有)モーターサイクルパル オートマック(株)	山 口 昌 彦 大 野 圭 央 大 橋 史 典

兵 庫	バイクショップ ロミオ 玉津インター店 (株)オートセイリョウ アクタ 西宮店	志賀 雄 一 豊山 直 樹 石井 吾 郎
奈 良	ホンダドリーム 奈良 ばわあくらふと 生駒 AUTOSHOP ミヤジマ	井田 博 雄 平田 良 雄 宮嶋 栄 次
和 歌 山	マツカワ輪業 CYCLE ヤマサキ 紀の川2輪	松川 矩 己 山崎 貴 之 永田 勝 也
鳥 取	(有)ライダーズ スポット ムラタ 西部ホンダ販売(有) 松力 サイクル	村田 守 孝 上田 純 一 松本 一 豊
島 根	ホンダドリーム 島根 (有)プロアーム オートショップ コイズミ	斉藤 勅 満 栗原 利 夫 小泉 利 夫
岡 山	(株)バイクプラザ ヤマノ 昭和ホンダ販売(株) (有)バイクプラザステップ	山野 洋之助 川田 陽 一 赤田 晴 一
広 島	(有)バイクショップ神田 高下モーターサイクル (有)バイクセンター くれ	神田 和 美 高下 一 久 台信 一 寿
山 口	(株)桑原モータース 周防輪業 三福輪業(株)	桑原 健 一 住原 健 一 中村 勤 治
徳 島	(有)インディーズ	山口 祐 治
香 川	(株)バイクプラザ 丸亀	高木 健 司
愛 媛	ホンダサービス 重信	前田 恭 一
高 知	ホンダドリーム 高知西	泉谷 容 子
福 岡	(株)MCG 福岡 YSP 友泉 樋口自転車商会	安藤 正 文 門松 秀 明 樋口 義 実
熊 本	ホンダドリーム 熊本 YSP 熊本 バイクショップアクセル	三好 優 一 門松 秀 明 松永 隆 夫
大 分	ブルーポイント 小野商会 (有)西大分ホンダ	前田 章 浩 小野 政 成 佐伯 博 昭
宮 崎	ホンダドリーム 宮崎 オートショップ 日高	黒岩 孝 志 日高 久 男
鹿 児 島	内山商事(株) 赤崎商会 バイクショップ チェリー	内山 正一郎 赤崎 藤 義 丸田 泰 道
沖 縄	(有)サキハマ 前里ホンダ カスタム首里	崎浜 盛 一 前里 勝 政 町田 一 顕

優良地域団体

計42団体

都府県地区名	優良地域団体名称	代表者氏名
札幌	札幌地区二輪車安全普及協会	松澤愛郎
青森	八戸地区二輪車安全普及協会	田島昇
岩手	岩手県二輪車安全普及協会ブロック会	田中清也
宮城	宮城県二輪車安全普及協会 中央南ブロック会	大友克人
秋田	鹿角地区二輪車安全普及協会	戸館和夫
山形	酒井・飽海二輪車安全普及協会	藤原馨
福島	福島県二輪車安全普及協会いわき支部	蓬田栄
東京	立川・国立二輪車安全普及協会	金子武人
	碑文谷二輪車安全普及協会	田口正光
	東京都二輪車安全普及協会 第8ブロック	荒井俊一
茨城	茨城県二輪車安全普及協会 水戸支部	倉持幸男
栃木	佐野地区二輪車安全普及協会	村野孝
埼玉	東入間地区二輪車安全普及協会	上野利勝
	新座地区二輪車安全普及協会	土方功
神奈川	横須賀二輪車安全普及協会	鈴木孝秀
	鎌倉・大船二輪車安全普及協会	伊郷紀道
静岡	静岡県浜松地区二輪車安全普及協会	鈴木義夫
岐阜	岐阜県二輪車安全普及協会 大安支部	中谷功
愛知	愛知県二輪車安全普及協会 瀬戸支部	伊藤達也
三重	三重県二輪車安全普及協会 名張支部	島藤悦男
大阪	堺地域二輪車安全普及協会	青木信晴
	天王寺地域二輪車安全普及協会	高尾進平
	城東地域二輪車安全普及協会	坂口稔
和歌山	和歌山市北地域二輪車安全普及協会	妙中清昌
	和歌山市東地域二輪車安全普及協会	丸谷昌男
	和歌山市西地域二輪車安全普及協会	崎山公男
鳥取	鳥取県東部二輪車安全普及協会	中村互
島根	島根県松江二輪車安全普及協会	熱田勝則
岡山	玉野二輪車安全普及協会	矢野清一
広島	広島東地区二輪車安全普及協議会	小笠原幸雄
	広島西地区二輪車安全普及協議会	波多野秀章
山口	山口県二輪車安全普及協会 岩国ブロック	鍵本唱
徳島	徳島県東二輪車安全普及協会	山橋諄亮
愛媛	大洲二輪車安全普及協会	吉岡通博
高知	高知県二輪車安全普及協会 高知南支部	裏正一
福岡	行橋地区二輪車安全普及協会	川津幸則
	大牟田地区二輪車安全普及協会	田中勉
熊本	水俣地区二輪車安全普及協会	松田喜正
大分	大分南地区二輪車安全普及協会	河野一成
鹿児島	奄美地区二輪車安全普及協会	内山正一郎
	曾於地区二輪車安全普及協会	隈元道雄
沖縄	沖縄県二輪車安全普及協会 名護支部	赤嶺義治

がんばろう東北

宮城県二普協事業活動報告

専務理事 山下 靖彦



東日本大震災の被災県である宮城県二普協の活動状況を紹介いたします。今なお避難生活を余儀なくされている販売店様もあるなど困難な状況が続いていますが、これを乗り越えての地区二普協の皆様や販売店様による活躍が県二普協活動の支えとなっております。

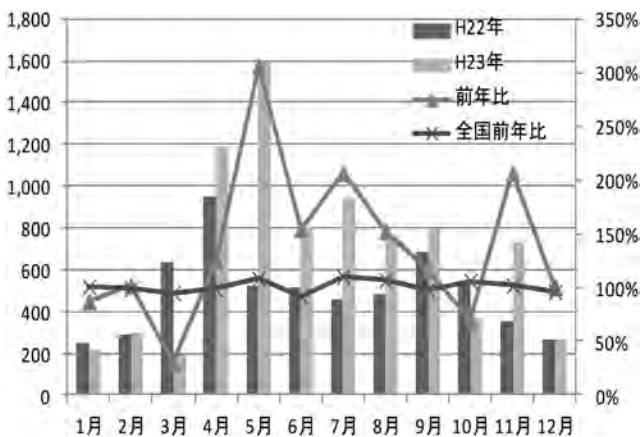
被災地では、二輪車の利便性、経済性が特に高く評価され、復旧復興に向けて、その機動力を十分に発揮しているとの報告をいただいております。それは、下表のG防犯登録の推進状況にも表れております。

っかけは、高等学校の原付安全講習の要請を受けても、小さい支部では指導員数の面で十分な対応ができず苦労や機会損失が多いことから、高等学校への交通安全教育の重要性に鑑み、ブロック編成の改革に踏み切り対処することにしました。

現在の会員数は、中央北33店、中央南31店、仙南11店、仙北5店、沿岸12の合計92店で構成され、3役（会長、G防推進部長、安全普及推進部長）がリーダーとなり、県警交通部・生活安全部、県安協（二推）と連携し県・地区二普協を円滑に運営しています。

<宮城県二普協の組織構成の経緯>

平成13年に従来の警察署単位の26支部から、警察のブロック単位による、中央（北と南に分割）、仙南、仙北、沿岸の5ブロックに体制変更しました。そのき



<G防犯登録の推進状況>

大震災前後の1月～3月までは苦戦を強いられましたが、以降、震災の影響から被災地の交通渋滞、駐車スペース確保の困難等、バイクの機動性が見直され、中古車の品不足や新車の需要増により、前年比139%（1月～11月）の伸びとなりました。特に、被災地に近い沿岸ブロックで前年比208%、中央南ブロックで152%、中央北ブロックで125%と伸びが顕著でした。

<Gミーティングの開催状況>

本年は4回の開催計画でしたが、震災の影響により4月開催の中止を余儀なくされました。しかし、販売店指導員の熱意もあって再調整し計画通り4回（内1

■宮城県G防登録推移

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
宮城県	H22年	251	287	638	948	521	518	455	482	686	528	354	267
	H23年	219	294	190	1,190	1,596	801	939	737	800	370	732	268
	前年比	87.3%	102.4%	29.8%	125.5%	306.3%	154.6%	206.4%	152.9%	116.6%	70.1%	206.8%	100.4%
全国	H22年	17,500	21,029	29,562	33,053	26,729	26,115	23,461	25,875	27,963	24,098	23,022	19,344
	H23年	17,625	20,795	28,087	32,554	28,983	24,042	25,893	27,692	27,319	25,589	23,464	18,595
	前年比	100.7%	98.9%	95.0%	98.5%	108.4%	92.1%	110.4%	107.0%	97.7%	106.2%	101.9%	96.1%

回はSUGOサーキット走行の特別編)実施しました。ただ、免許センターの本コースは震災で凹凸ができ使用できず、原付コースに変更しました。その結果、コースのスペースにより原付コースで79名、SUGOで34名、合計113名の参加者でした。

参加者の募集は、販売店の店頭個別安全指導を強化すべく、受付窓口を全てブロック二普協会会員店でなおかつG防登録を扱っている店に限定して募集を進めました。

<Gミーティング反省検討会の開催>

毎年、全開催が終了後、今年度の反省と来年度の計画そして研修会を兼ねてGミーティング反省検討会を

開催しています。今年は12月3日に指導員12名(全員特別指導員)、交通機動隊、交通安全協会、全二普協を交えて行いました。

会議では、今年度の反省点を踏まえ、来年度のカリキュラム編成を全員で検討し、来年度は、本コースも使用できることから初心者と一般を分けて募集することで、初心者が更に参加しやすい環境を整えること。受講者の安全確保のためプロテクターの着用も推奨すること。そして来年度も4月、5月、9月、10月の4回開催することを決定しました。また、誰でも何処のセクションもこなせるように、指導員のレベルアップ研修会を開催するよう申し合わせをしました。



SUGOサーキット特別編Gミーティング



Gミーティング反省検討会

比嘉勝彦前九州ブロック協議会会長 前沖縄県二普協会会長に感謝状

～永年にわたる功績を称える～

永年にわたり沖縄県二輪車安全普及協会会長として協会運営に尽力するとともに、Gミーティング等の安全運転の講習会の実施とG防犯登録の加入率向上に積極的に取り組み、二輪車の安全で健全な利用の促進に多大な貢献をされた、比嘉勝彦前二普協九州ブロック協議会会長・前沖縄県二輪車安全普及協会会長に全国二輪車安全普及協会会長より感謝状を贈呈しました。

比嘉前会長は沖縄県二普協会会長を16年間務められました。

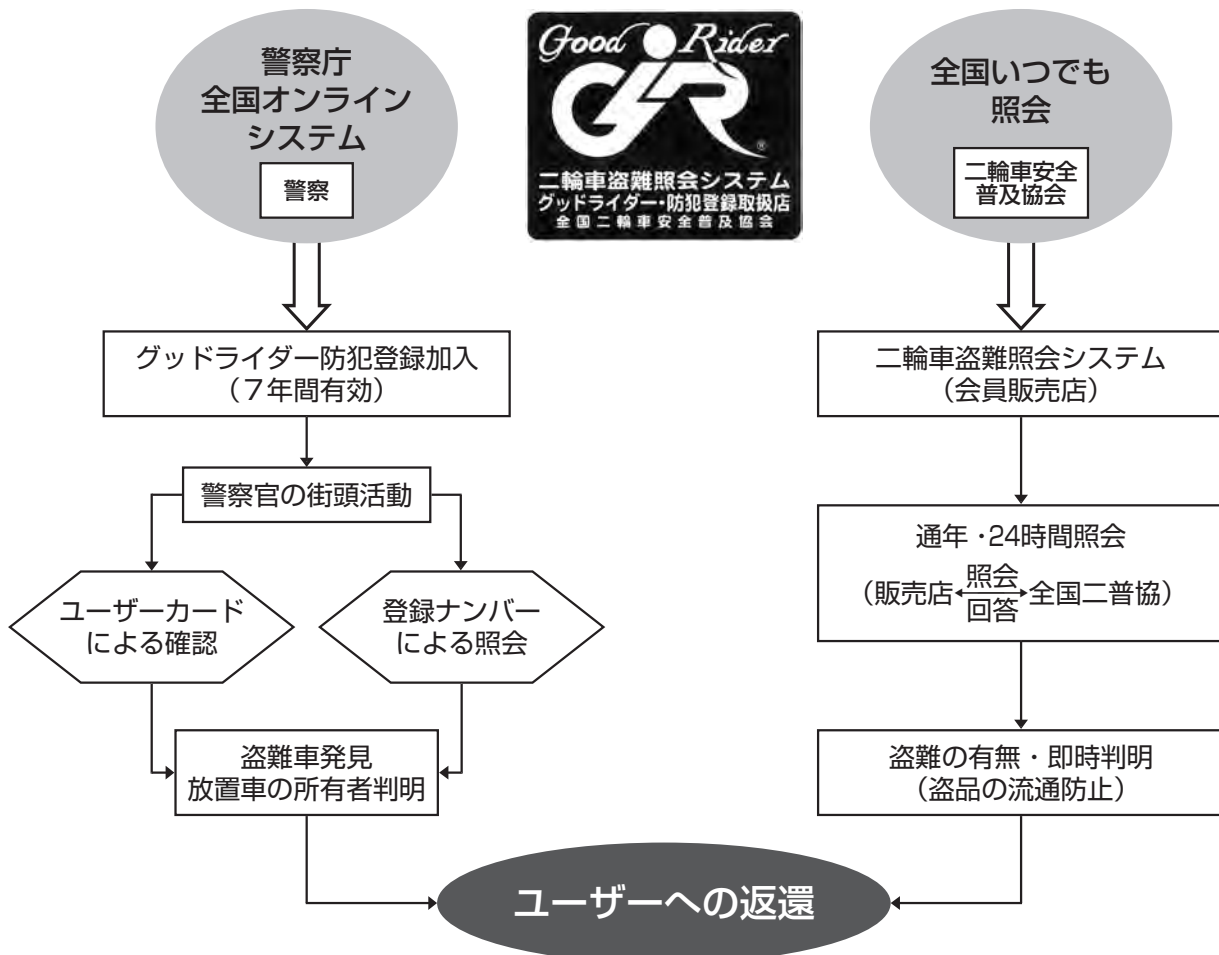
永年のご功勞に感謝申し上げます。



あなたの安全とバイクを守るための ～全国二普協の盗難防止と早期発見事業～

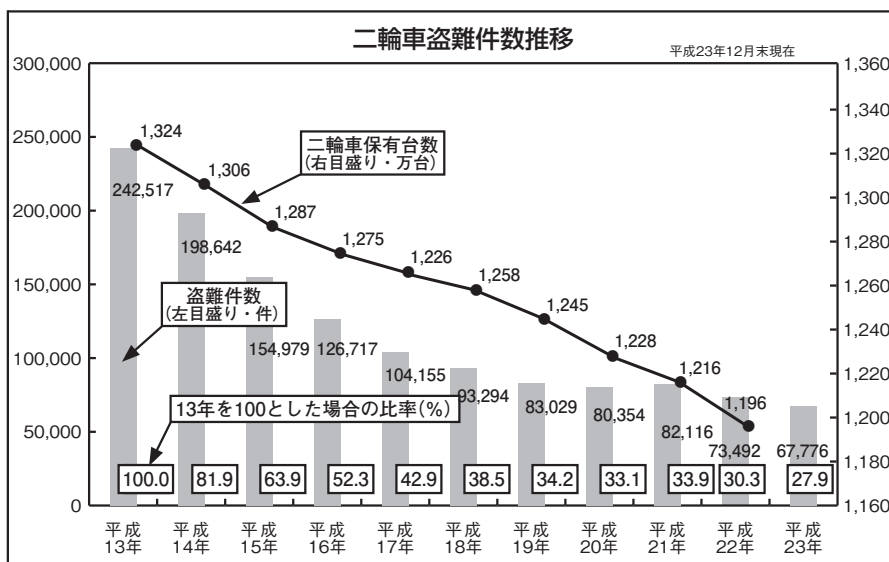
グッドライダー防犯登録

二輪車盗難照会システム



〈メリット〉

- ▽ 放置車両も即時に所有者判明
- ▽ 全国いつでもどこでも照会できる (加入しなければ照会できない)
- ▽ ユーザーカードにより所有者判明



〈メリット〉

- ▽ 盗品売買の防止 (社会的信用)
- ▽ 無償返還の防止 (古物営業法第20条)
- ▽ 不正流通の防止 (取引の安全)

昨年の交通事故死、前年比252人減

— 二輪車乗車中は25人減 —

(平成23年12月末／警察庁資料)

	自二車乗車中死者数			原付車乗車中死者数			二輪車乗車中死者数			全 死 者 数			二輪車の死者数の構成比	
	23年 12月末	22年 12月末	増減数	23年 12月末	22年 12月末	増減数	23年 12月末	22年 12月末	増減数	23年 12月末	22年 12月末	増減数		
北海道	20	17	3	2	4	-2	22	21	1	190	215	-25	11.6	
東 北	青森	1	4	-3	2	3	-1	3	7	-4	54	66	-12	5.6
	岩手	5	3	2	4	0	4	9	3	6	66	67	-1	13.6
	宮城	4	6	-2	7	5	2	11	11	0	67	80	-13	16.4
	秋田	3	0	3	2	3	-1	5	3	2	57	60	-3	8.8
	山形	3	2	1	3	1	2	6	3	3	50	51	-1	12.0
	福島	7	7	0	6	8	-2	13	15	-2	94	112	-18	13.8
計	23	22	1	24	20	4	47	42	5	388	436	-48	12.1	
関 東	東京	52	49	3	15	23	-8	67	72	-5	215	215	0	31.2
	茨城	9	10	-1	14	25	-11	23	35	-12	169	205	-36	13.6
	栃木	6	13	-7	9	17	-8	15	30	-15	111	146	-35	13.5
	群馬	13	3	10	4	4	0	17	7	10	97	94	3	17.5
	埼玉	28	35	-7	23	15	8	51	50	1	207	198	9	24.6
	千葉	23	19	4	8	11	-3	31	30	1	175	184	-9	17.7
	神奈川	46	40	6	12	25	-13	58	65	-7	180	182	-2	32.2
	新潟	8	10	-2	8	2	6	16	12	4	133	126	7	12.0
	山梨	2	4	-2	3	2	1	5	6	-1	39	49	-10	12.8
	長野	8	7	1	3	7	-4	11	14	-3	115	110	5	9.6
計	195	190	5	99	131	-32	294	321	-27	1,441	1,509	-68	20.4	
中 部	富山	2	5	-3	2	3	-1	4	8	-4	50	58	-8	8.0
	石川	1	2	-1	2	4	-2	3	6	-3	44	64	-20	6.8
	福井	0	5	-5	2	1	1	2	6	-4	61	42	19	3.3
	岐阜	9	13	-4	3	2	1	12	15	-3	102	133	-31	11.8
	静岡	23	19	4	14	13	1	37	32	5	164	165	-1	22.6
	愛知	23	26	-3	18	19	-1	41	45	-4	225	197	28	18.2
	三重	5	8	-3	9	9	0	14	17	-3	95	135	-40	14.7
計	63	78	-15	50	51	-1	113	129	-16	741	794	-53	15.2	
近 畿	滋賀	6	8	-2	8	10	-2	14	18	-4	85	78	7	16.5
	京都	10	12	-2	14	13	1	24	25	-1	102	96	6	23.5
	大阪	31	38	-7	23	16	7	54	54	0	197	201	-4	27.4
	兵庫	31	22	9	15	12	3	46	34	12	198	192	6	23.2
	奈良	4	7	-3	2	2	0	6	9	-3	47	45	2	12.8
和歌山	3	5	-2	8	6	2	11	11	0	54	52	2	20.4	
計	85	92	-7	70	59	11	155	151	4	683	664	19	22.7	
中 国	鳥取	2	3	-1	3	2	1	5	5	0	26	42	-16	19.2
	島根	2	1	1	1	5	-4	3	6	-3	31	31	0	9.7
	岡山	9	7	2	7	10	-3	16	17	-1	106	109	-3	15.1
	広島	14	12	2	9	14	-5	23	26	-3	113	127	-14	20.4
	山口	8	8	0	4	6	-2	12	14	-2	74	96	-22	16.2
計	35	31	4	24	37	-13	59	68	-9	350	405	-55	16.9	
四 国	徳島	2	1	1	8	2	6	10	3	7	49	44	5	20.4
	香川	7	2	5	5	7	-2	12	9	3	76	65	11	15.8
	愛媛	8	4	4	10	6	4	18	10	8	91	64	27	19.8
	高知	6	5	1	1	2	-1	7	7	0	46	52	-6	15.2
計	23	12	11	24	17	7	47	29	18	262	225	37	17.9	
九 州	福岡	14	26	-12	14	10	4	28	36	-8	157	170	-13	17.8
	佐賀	3	8	-5	4	2	2	7	10	-3	49	58	-9	14.3
	長崎	6	6	0	5	3	2	11	9	2	47	52	-5	23.4
	熊本	15	7	8	6	8	-2	21	15	6	86	78	8	24.4
	大分	7	6	1	3	3	0	10	9	1	45	65	-20	22.2
	宮崎	5	2	3	2	2	0	7	4	3	49	51	-2	14.3
	鹿児島	7	5	2	2	9	-7	9	14	-5	78	94	-16	11.5
沖縄	12	10	2	4	3	1	16	13	3	45	47	-2	35.6	
計	69	70	-1	40	40	0	109	110	-1	556	615	-59	19.6	
合 計	513	512	1	333	359	-26	846	871	-25	4,611	4,863	-252	18.3	

グッドライダー防犯登録、出荷台数比74.1%

— 保有台数比22.6% 地域格差の解消が課題 —

(社)全国二輪車安全普及協会
(平成23年12月末)

都道府県	H23.1月～ H23.12月 出荷台数 A	H22年 3月末 保有台数 B	H22年12月末 7年満期削除済 C	登録			H15年 12月 F	削除		累計	
				H23年 12月 D	H23.1月～ H23.12月 E	出荷台数 比(E/A)		H15.1月～ H15.12月 G	H(C+E-G)	H22年保有 台数比(H/B)	
北海道	3,205	216,302	13,812	3	1,054	32.9	29	1,955	12,911	6.0	
青森県	1,216	87,152	12,243	21	1,095	90.0	25	1,674	11,664	13.4	
岩手県	2,291	107,575	10,745	26	1,059	46.2	56	1,733	10,071	9.4	
宮城県	8,629	181,865	53,802	268	8,136	94.3	181	6,439	55,499	30.5	
秋田県	615	60,989	3,524	4	307	49.9	10	595	3,236	5.3	
山形県	947	82,902	7,326	9	785	82.9	21	941	7,170	8.6	
福島県	2,377	153,119	11,144	28	1,079	45.4	47	1,376	10,847	7.1	
東北計	16,075	673,602	98,784	356	12,461	77.5	340	12,758	98,487	14.6	
東京都	44,005	1,037,715	285,286	1,888	27,113	61.6	2,780	46,926	265,473	25.6	
茨城県	6,225	246,855	24,983	230	3,638	58.4	135	2,759	25,862	10.5	
栃木県	3,829	174,988	16,313	89	1,500	39.2	153	2,174	15,639	8.9	
群馬県	3,330	166,198	17,629	141	1,983	59.5	117	2,539	17,073	10.3	
埼玉県	23,334	586,902	184,876	994	16,290	69.8	1,270	22,806	178,360	30.4	
千葉県	17,505	491,556	76,249	591	9,096	52.0	539	9,693	75,652	15.4	
神奈川県	39,326	961,589	189,461	1,487	23,570	59.9	1,775	27,259	185,772	19.3	
新潟県	2,648	194,269	12,557	23	1,165	44.0	59	2,263	11,459	5.9	
山梨県	3,359	118,022	36,445	215	4,254	126.6	188	4,050	36,649	31.1	
長野県	3,454	209,506	30,368	100	2,378	68.8	242	5,522	27,224	13.0	
関東計	147,015	4,187,600	874,167	5,758	90,987	61.9	7,258	125,991	839,163	20.0	
静岡県	15,997	450,799	48,049	373	6,479	40.5	298	5,120	49,408	11.0	
富山県	900	56,491	4,283	22	508	56.4	11	535	4,256	7.5	
石川県	1,416	66,608	6,885	8	663	46.8	22	672	6,876	10.3	
福井県	928	42,749	5,733	17	620	66.8	20	577	5,776	13.5	
岐阜県	2,388	126,448	6,781	100	1,037	43.4	13	434	7,384	5.8	
愛知県	18,065	517,676	75,489	807	11,059	61.2	343	5,333	81,215	15.7	
三重県	5,253	187,596	38,434	296	3,624	69.0	372	5,908	36,150	19.3	
中部計	44,947	1,448,367	185,654	1,623	23,990	53.4	1,079	18,579	191,065	13.2	
滋賀県	3,692	135,565	56,085	276	5,024	136.1	926	9,492	51,617	38.1	
京都府	17,772	405,375	125,203	1,023	14,581	82.0	517	19,783	120,001	29.6	
大阪府	45,922	1,009,237	384,585	2,913	44,198	96.2	3,101	25,507	403,276	40.0	
兵庫県	19,012	636,293	92,492	1,050	17,473	91.9	93	3,956	106,009	16.7	
奈良県	5,949	200,088	26,512	138	2,220	37.3	162	4,109	24,623	12.3	
和歌山県	7,463	212,211	52,452	289	4,784	64.1	161	8,940	48,296	22.8	
近畿計	99,810	2,598,769	737,329	5,689	88,280	88.4	4,960	71,787	753,822	29.0	
鳥取県	697	33,857	9,289	54	731	104.9	77	1,583	8,437	24.9	
島根県	1,424	54,483	22,166	118	1,953	137.1	182	3,543	20,576	37.8	
岡山県	6,232	204,795	102,188	640	9,519	152.7	1,004	14,756	96,951	47.3	
広島県	14,902	374,388	279,811	1,777	27,287	183.1	2,333	40,057	267,041	71.3	
山口県	4,047	122,611	50,183	226	4,309	106.5	385	6,380	48,112	39.2	
中国計	27,302	790,134	463,637	2,815	43,799	160.4	3,981	66,319	441,117	55.8	
徳島県	2,330	92,742	11,460	73	1,306	56.1	47	928	11,838	12.8	
香川県	3,975	126,784	6,795	81	1,827	46.0	88	535	8,087	6.4	
愛媛県	9,426	235,106	128,399	774	12,966	137.6	1,892	17,991	123,374	52.5	
高知県	3,872	118,881	30,180	125	3,456	89.3	313	3,894	29,742	25.0	
四国計	19,603	573,513	176,834	1,053	19,555	99.8	2,340	23,348	173,041	30.2	
福岡県	14,759	428,362	50,920	361	5,692	38.6	276	6,100	50,512	11.8	
佐賀県	1,325	69,606	1,620	6	182	13.7	0	29	1,773	2.5	
長崎県	4,970	169,339	14,596	71	1,014	20.4	141	3,075	12,535	7.4	
熊本県	7,266	203,115	40,215	288	4,638	63.8	240	5,823	39,030	19.2	
大分県	3,651	121,240	13,100	97	1,652	45.2	59	1,503	13,249	10.9	
宮崎県	2,886	104,113	13,870	63	1,313	45.5	205	2,818	12,365	11.9	
鹿児島県	7,305	209,307	49,834	208	3,288	45.0	588	11,446	41,676	19.9	
沖縄県	5,414	166,550	16,884	204	2,733	50.5	181	1,502	18,115	10.9	
九州計	47,576	1,471,632	201,039	1,298	20,512	43.1	1,690	32,296	189,255	12.9	
全国計	405,533	11,959,919	2,751,256	18,595	300,638	74.1	21,677	353,033	2,698,861	22.6	

二輪車盗難件数、前年比7.8%減 — 被害回復率41.1%、29県で回復率アップ —

(平成23年12月末／警察庁資料)

盗難認知／被害回復状況

(社)全国二輪車安全普及協会

都道府県	G防普及率 H23年12月	平成21年 (年間比較)			平成22年 (年間比較)			平成22年 1月～12月 (前年同期間比較)			平成23年 1月～12月 (前年同期間比較)		
		盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率	盗難認知	被害回復	回復率
北海道	6.0	499	266	53.3	362	188	51.9	362	188	51.9	352	209	59.4
青森県	13.4	58	29	50.0	39	19	48.7	39	19	48.7	33	17	51.5
岩手県	9.4	53	34	64.2	32	19	59.4	32	19	59.4	39	9	23.1
宮城県	30.5	1,006	514	51.1	832	392	47.1	832	392	47.1	618	298	48.2
秋田県	5.3	26	10	38.5	21	11	52.4	21	11	52.4	15	11	73.3
山形県	8.6	46	21	45.7	64	36	56.3	64	36	56.3	54	24	44.4
福島県	7.1	208	121	58.2	268	151	56.3	268	151	56.3	200	130	65.0
東北計	14.6	1,397	729	52.2	1,256	628	50.0	1,256	628	50.0	959	489	51.0
東京都	25.6	6,548	1,825	27.9	6,709	1,796	26.8	6,709	1,796	26.8	6,429	1,839	28.6
茨城県	10.5	1,844	325	17.6	1,679	329	19.6	1,679	329	19.6	1,690	301	17.8
栃木県	8.9	558	106	19.0	526	114	21.7	526	114	21.7	372	49	13.2
群馬県	10.3	534	201	37.6	563	178	31.6	563	178	31.6	569	218	38.3
埼玉県	30.4	5,633	949	16.8	5,858	764	13.0	5,858	764	13.0	4,658	908	19.5
千葉県	15.4	4,606	1,684	36.6	4,423	1,718	38.8	4,423	1,718	38.8	3,105	1,298	41.8
神奈川県	19.3	7,345	3,158	43.0	7,344	3,024	41.2	7,344	3,024	41.2	7,151	3,201	44.8
新潟県	5.9	183	88	48.1	178	70	39.3	178	70	39.3	148	57	38.5
山梨県	31.1	419	195	46.5	757	319	42.1	757	319	42.1	770	352	45.7
長野県	13.0	337	131	38.9	222	96	43.2	222	96	43.2	176	87	49.4
関東計	20.0	28,007	8,662	30.9	28,259	8,408	29.8	28,259	8,408	29.8	25,068	8,310	33.1
静岡県	11.0	1,744	913	52.4	1,666	847	50.8	1,666	847	50.8	1,394	818	58.7
富山県	7.5	89	66	74.2	69	45	65.2	69	45	65.2	67	47	70.1
石川県	10.3	167	70	41.9	145	55	37.9	145	55	37.9	103	68	66.0
福井県	13.5	112	83	74.1	121	51	42.1	121	51	42.1	124	77	62.1
岐阜県	5.8	785	460	58.6	537	319	59.4	537	319	59.4	586	333	56.8
愛知県	15.7	5,238	906	17.3	4,655	1,018	21.9	4,655	1,018	21.9	3,878	933	24.1
三重県	19.3	806	415	51.5	760	411	54.1	760	411	54.1	874	421	48.2
中部計	13.2	8,941	2,913	32.6	7,953	2,746	34.5	7,953	2,746	34.5	7,026	2,697	38.4
滋賀県	38.1	843	355	42.1	708	245	34.6	708	245	34.6	622	177	28.5
京都府	29.6	4,072	1,561	38.3	3,083	1,229	39.9	3,083	1,229	39.9	2,975	1,302	43.8
大阪府	40.0	12,510	3,787	30.3	9,422	3,571	37.9	9,422	3,571	37.9	8,707	3,266	37.5
兵庫県	16.7	6,483	2,313	35.7	5,644	2,273	40.3	5,644	2,273	40.3	5,060	1,804	35.7
奈良県	12.3	1,146	553	48.3	968	380	39.3	968	380	39.3	828	374	45.2
和歌山県	22.8	1,045	600	57.4	578	272	47.1	578	272	47.1	457	215	47.0
近畿計	29.0	26,099	9,169	35.1	20,403	7,970	39.1	20,403	7,970	39.1	18,649	7,138	38.3
鳥取県	24.9	31	9	29.0	46	21	45.7	46	21	45.7	60	34	56.7
島根県	37.8	31	18	58.1	23	19	82.6	23	19	82.6	35	23	65.7
岡山県	47.3	1,115	669	60.0	1,300	764	58.8	1,300	764	58.8	1,675	1,035	61.8
広島県	71.3	1,378	755	54.8	1,176	792	67.3	1,176	792	67.3	1,190	765	64.3
山口県	39.2	242	123	50.8	268	136	50.7	268	136	50.7	189	78	41.3
中国計	55.8	2,797	1,574	56.3	2,813	1,732	61.6	2,813	1,732	61.6	3,149	1,935	61.4
徳島県	12.8	117	47	40.2	160	80	50.0	160	80	50.0	130	84	64.6
香川県	6.4	779	387	49.7	794	385	48.5	794	385	48.5	572	268	46.9
愛媛県	52.5	1,109	568	51.2	1,231	496	40.3	1,231	496	40.3	1,140	401	35.2
高知県	25.0	803	390	48.6	433	264	61.0	433	264	61.0	320	204	63.8
四国計	30.2	2,808	1,392	49.6	2,618	1,225	46.8	2,618	1,225	46.8	2,162	957	44.3
福岡県	11.8	7,421	4,410	59.4	6,432	3,905	60.7	6,432	3,905	60.7	7,066	4,412	62.4
佐賀県	2.5	286	162	56.6	261	159	60.9	261	159	60.9	340	235	69.1
長崎県	7.4	294	151	51.4	265	169	63.8	265	169	63.8	192	133	69.3
熊本県	19.2	1,040	810	77.9	606	441	72.8	606	441	72.8	584	381	65.2
大分県	10.9	432	215	49.8	379	228	60.2	379	228	60.2	399	219	54.9
宮崎県	11.9	160	118	73.8	158	71	44.9	158	71	44.9	126	68	54.0
鹿児島県	19.9	731	475	65.0	546	324	59.3	546	324	59.3	444	270	60.8
沖縄県	10.9	1,204	428	35.5	1,180	312	26.4	1,180	312	26.4	1,260	389	30.9
九州計	12.9	11,568	6,769	58.5	9,827	5,609	57.1	9,827	5,609	57.1	10,411	6,107	58.7
全国計	22.6	82,116	31,474	38.3	73,491	28,506	38.8	73,491	28,506	38.8	67,776	27,842	41.1

(注) G・防普及率
12月末G防普及率
H22年3月保有台数

<H21対H22比較>
①盗難認知件数 **-8,625** **-10.5%**

・前年同期間比較 ①認知件数 **-5,715** **-7.8%**

②認知件数の増減(県の数) ③回復率の増減(県の数)

認知増県数	15
認知減県数	32
計	47

回復率ダウン	18
回復率アップ	29
計	47

ホームページの利用促進

免許取得支援活動の活性化

平成22年の原付免許受験者は314,712人（前年比92.8%）、合格者は178,144人（前年比93.7%）（全国二普協調べ）であり、23年も減少傾向に特段の変化はないと推測されます。

全国二普協では、運転免許を取得しようとする時点での交通安全教育は、効果が期待できることから、必要な情報を提供して免許取得を支援し、ルールとマナーを重んじるグッドライダーの育成を推進するため、ホームページによる利用促進を図ってまいりました。

昨年、8月～11月のホームページ来訪者を調査したところ「原付免許」「原付テスト」といった「原付」に絡めたアクセスが全体の過半数を占め尚且つ若年層が6割を超えていることから、その強化施策の準備を講じているところです。

ホームページでは、「原付学科模擬テスト」サイトへの導線が弱いことから、「チャレンジ！原付免許テスト」誘導バナーを新設しました。また、原付免許を取

得したい若年層はモバイル世代といえることから、モバイルコンテンツを提供することで、免許取得を支援しさらに二普協事業の理解に繋げるため、携帯電話からアクセス可能な「モバイル版原付免許チャレンジ」の構築に着手しました。



モバイル版原付免許チャレンジ（イメージ）

編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は東日本大震災があり、私たちがこれから生きていく上で決して忘れてはいけないうちとなりました。被災された方々に一日も早く笑顔が戻ることをお祈りしたいと思います。

さて、本年は辰年ですが、辰の字についてインターネットで確認しましたら、辰の語源は「動いて伸びる」「整う」の意味を持っており、草木が盛んに成長し形が整った状態を表すと載ってありました。

当協会にとって、本年は、一般社団法人への移行など課題の多い年ではありますが、一人ひとりの活動がより活発となり、それらの努力によってより良い協会作りにつながればと考えています。

今年が希望の年となりますように、皆様のな

お協力とご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

本年もよろしくお願い申し上げます

(社)全国二輪車安全普及協会

専務理事	井内 正晴
常務理事	太田 昭雄
参 与	鯉 三夫
事務局 長	大沢 利方
安全普及部長	山本 禮仁
経 理 部 長	田島 和雄
G防システム部長	藤本 米明
新公益法人対策室長	清水 頼子
職 員	吉田真由子
職 員	